

学校全体の取り組み

授業規律について	① 指名されてから発言させる。 ② 「はい」は一回または黙って挙手をさせる。 ③ 指名されたら「はい・立つ・です」 ④ みんなに聞こえる声の大きさを発音させる。(声のものさしの活用) ⑤ 発言している人の方を向いて聞かせる。
持ち物について	① 4月に決めた物を持ってきているのかを観察、または点検する。そして、不要な物を持ってこさせない。 ② 机の横にたくさんの物をかけさせない。 ③ 道具をわすれたときには報告させる。
教室掲示について	① 教務に配布された資料に準ずる。
ノート・その他	① 日付を書かせる。 ② 線を引くときは定規を使わせる。 ③ ノートの書き方を指導する。 ④ 視覚的な効果を高めるためにICT機器を活用する。 ⑤ 授業の毎時間、書く活動を取り入れる。

評	説	明
A	十分に改善や工夫をした	
B	おおむね改善や工夫をした	
C	改善や工夫の努力が足りなかった	
D	改善や工夫をしなかった	

教科名	児童の実態	指導方法の改善と工夫	評価	
			2学期	3学期
国語	<p>思考力・判断力・表現力</p> <p>【読む】 ・物語文や説明文の読み取りでは、ほとんどの児童が書かれていることのおおまかな内容や事柄を把握することができる。時間的な順序や事柄の順序に気を付けて読むことが、まだ難しい。</p> <p>【書く】 ・経験したことや想像したことなどから書くことを決め、必要な事柄を意欲的に集めることができる。また、事柄の順序に沿って簡単な構成で書くことがおおむねできるが、語と語や文と文の続き方に間違いが多く、つながりのある文章を書くことが難しい。</p>	<p>【読む】 ・時間を表す言葉や順序を示す言葉を1つ1つ確認しながら、読み取りを進めていく。</p> <p>【書く】 ・文章を読み返す習慣を付け、間違いに気付いて直せるようにしていく。</p>	C	B
	<p>言語能力の実態と言語活動の改善・工夫</p> <p>【話す・聞く】 ・自分の伝えたいことや考えを話すことができる。話す事柄を順序立てて、話すことを難しい。 ・大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞く児童が多い。</p> <p>【言語】 ・漢字を読み、書くことはおおむねできるが、文や文章の中で使うまでには至っていない。</p>	<p>【話す・聞く】 ・全体に向けて話す機会を多く設け、児童に話すことを慣れさせる。 ・話す事柄について、分かりやすく伝えるためにどのような順序で話すかを事前に考えさせ、キーワードだけをメモして、それを手がかりに話す機会を設定する。 【言語】 ・新出漢字を学習するときに、言葉集めや短文づくりを行ったり、ノートや作文を書くときに学習した漢字を使うよう、促す。</p>	C	B
算数	<p>思考力・判断力・表現力</p> <p>【問題発見】 ・板書を写すだけにとどまり、課題を自分の課題として意識している児童は少ない。</p> <p>【自力解決】 ・自力で題意を読み取って立式できない児童が多い。</p> <p>【発表】 ・理由をつけて自分の考えを伝えることはとても難しい。</p>	<p>【問題発見】 ・簡単な言葉で本時のめあてを示し、意識させる。 ・問題解決の意欲を高めるための手立てを考え、主体的に取り組むことができるようにしていく。 ・問題場面を絵や図を描いて整理して、内容を正確に把握することができるようにする。</p> <p>【自力解決】 ・問題の理解をするための方法(図式化、数値化、数値の簡素化など)を、考える方法として取り入れていく。</p> <p>【発表】 ・まずは自分の出した答え(結論)を伝えられるようにして、それから理由をきちんと説明できた児童の言い方をまねて発表することで、発表の力を高める。</p>	C	B
	<p>言語能力の実態と言語活動の改善・工夫</p> <p>【説明する力】 ・「はじめに」「次に」と順序を表す言葉を用いながら、自分の考えを意欲的に発表する児童がいる。一方で、どのような方法で自分の考えを示したらいいのか、難しい児童が数人いる。</p>	<p>【説明する力】 ・ノートに自分の考えを適切に書き出すための、段階的な指導を入れる。 ・発表するときを使う言葉をいくつか提示し、それを生かした発表の仕方を促していく。</p>	C	B

生活	基礎的・基本的な知識・技能	<p>【観察・体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物や植物、自分の身の回りのものに対する関心が高い。多くの児童がミニトマトの観察や世話を進んで行っていた。</li> <li>・小動物とのふれあいの経験が少ない。</li> </ul> <p>【観察カード】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧に取り組む意欲をもっている。</li> <li>・観察の目的意識が弱い。継続的な観察につながらない。</li> </ul>	<p>【観察・体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、体験的な学習を計画していく。(町探検、いもほり、昔あそびなど)</li> <li>・活動のめあてをしっかりとおさえる。</li> </ul> <p>【観察カード】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察のポイントや視点を明確にして、どのようなことをかいたら良いか指導する。国語の授業で学習したことを踏まえ書くことができるようにする。</li> <li>・お互いのカードを見る時間を設け、良さを認め合うことができるようにする。</li> </ul>	C	B
	言語活動	<p>【かかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生として、1年生を学校探検、遠足でお世話をし、上級生になった気持ちを味わっている。</li> <li>・気付いたことや観察してわかったことを、自分の言葉で観察カードなどに書き込むことができている児童が多い。</li> <li>・学年全体で取り組むことで、自分のクラスだけではなく、他のクラスの様子を見ることができるようになってきた。</li> </ul>	<p>【かかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、1年生との活動をする中で、自分の成長について気付いていけるようにする。</li> <li>・クラスの友達や様々な人との活動を通して、人の関わり大切さを自覚させる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの中でお世話になっている方々に対し、感謝の気持ちをもたせて(お世話になっていることに気付かせて)関わらせるようにする。</li> </ul>	C	B
音楽	思考力・判断力・表現力	<p>【音楽表現の創意工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拍子や音の高さに気を付けて活動ができる。慣れが必要である。</li> </ul> <p>【音楽表現の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱については、大きな声で歌うことができる。</li> <li>・鍵盤ハーモニカでは指使い、息のコントロール、タンギングの技術を少しずつ身に付けていって</li> </ul>	<p>【音楽表現の創意工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拍子や音の高さに気を付けて、合奏や歌唱、そのほかの表現に、多様に活用する場面を設けていく。</li> </ul> <p>【音楽表現の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導を継続し、力を付けていく。</li> </ul>	B	B
	言語能力の実態と言語活動の改善・工夫	<p>【伝え合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階的に、まだまだ友達の演奏について、客観的な見方はできないが、聞いて楽しむことはできる。</li> <li>・鑑賞曲を聞いて、感じた雰囲気やイメージした様子を積極的に伝えようとする児童が多い。</li> </ul>	<p>【伝え合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の時間に、聞き取った印象や音楽の楽しさを記述する時間を設ける。</li> </ul>	C	B
図工	基礎的・基本的な知識・技能	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全クラスともに、関心意欲が高い。</li> </ul> <p>【発想・構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発想は児童によりまちまちである。お互いの刺激合いがもっとあると良い。</li> </ul> <p>【創造的的技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個人差がある。道具の使い方に関して、個別支援が必要な児童がいる。</li> </ul>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○このまま続けていけると良い、より集中力を高め持続できるように、題材を選びたい。「良いね、ここところが良いね」と常に声に出して褒めるようにする。</li> </ul> <p>【発想・構想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「これは良いね、ここところが良いね」などよい発想や、思いの表れている作品をその都度紹介する。</li> </ul> <p>【創造的的技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童によっては基本的な技能を支援していく。カッターなど道具の使い方に関しては図版を使用するなどしてわかりやすく説明し、持ち方使い方などを十分に練習させる。はさみの使い方も復習させる。</li> </ul>	B	A
	言語活動	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他者の良いところに気付く児童もいるが、なかなか自分の良さに気付けない児童もいる。</li> </ul>	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○制作中や制作後に鑑賞の時間をとり、自分の良さや他の良さに気付かせる。</li> </ul>	B	B
体育	思考力・判断力・表現力	<p>【課題を把握する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習内容を理解しているが、めあてをきちんと立てて取り組んでいる児童は少ない。</li> </ul> <p>【課題を探求する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習内容を工夫し、友達同士で見合っている児童と、そうでない児童との差が大きい。</li> </ul>	<p>【課題を把握する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容に応じた学習活動を工夫し、児童一人ひとりがめあてをもち取り組むことができるようにする。</li> </ul> <p>【課題を探求する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達同士で教え合う時間を設定するとともに、全体の前で工夫したことや分かったことを発表する時間を確保し、練習の工夫を考えさせる。</li> </ul>	C	B
	言語能力の実態と言語活動の改善・工夫	<p>【伝える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の動きの良いところに着目して見ることができている児童は少ない。</li> </ul>	<p>【伝える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見るポイントを指示し、感じたことや分かったことを短い言葉で表現し、発表させていく。</li> </ul>	C	B
道徳	思考力・判断力・表現力	<p>【課題を把握する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳のねらいに即して、資料を読み取ろうとする意欲がある。</li> </ul> <p>【価値を探求する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値に気付きをもち、日々の生活を振り返って考えようとしている。</li> </ul>	<p>【課題を把握する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、多様な資料を通して、道徳的な価値にふれていく。</li> </ul> <p>【価値を探求する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じて、道徳的に生きることについて考えさせていく。</li> </ul>	B	B
	言語能力の実態と言語活動の改善・工夫	<p>【書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを記述できる。</li> </ul> <p>【話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料について、感じたこと、考えたことを発表、交流しようとする児童が多い。</li> </ul>	<p>【書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを記述して残していく。</li> </ul> <p>【話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの交流を通して、自分の考えを伝え合う大切さについて気付く活動を継続していく。</li> </ul>	B	B